

ようこそ 図書館へ

第11号

2011年11月
津市図書館

おもな内容

- 図書館で節約生活 (P2)
- レファレンス事例集 (P4)
- 知ろう私たちの郷土 (P5)



2011.4.23 「どことどこLibrary」【津図書館】



2011.7.23 「やまびこ夏のおたのしみ会」【安濃図書館】



2011.8.27 「おはなし会スペシャル」【久居ふるさと文学館】



2011.7.17 「わくわくとしよかんまつり」【うぐいす図書館】



津市図書館では、
年間を通して様々な講座等が
開催されています。ぜひご参加ください！
詳しくは、毎月16日発行の広報津に
折り込みの「図書館たいむず」を
ご覧ください。

津市図書館ホームページ

<http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp>

図書館で節約生活



食費に、光熱費に交際費に…。何かとモノ入りな毎日。そこでふとひらめきました。もしかしたら、図書館ってとっても節約的で、しかも地球に優しいところ?!

そこで今回は、図書男さんと本子さんご夫婦にお子さん2人、本子さんFamilyの図書館通帳1か月分をちょっとのぞき見…。



節約その1 (お財布)

ただいま定期購入中、図書男さんの「週刊ダイヤモンド」と本子さんの「きょうの料理」、そしてお姉ちゃんの「non-no」。「私の『きょうの料理』は月刊誌だけど、週刊誌はかさばって…。」と本子さん。

これらの雑誌、全て図書館にありました!

定期購読の雑誌1か月分

- ・「週刊ダイヤモンド」 ¥690×4冊=¥2760
- ・「きょうの料理」 ¥530
- ・「non-no」 ¥680

締めて合計¥3,970



節約その2 (お財布)

弟くんがハマっている宗田理さんの「ぼくら」シリーズ。まだまだ続いています。

1冊¥1260が今のところシリーズ19冊刊行済み。もちろん、続きも読みたい!

$¥1,260 \times 19冊 = ¥23,940$

それから、本子さん、最近手作りパンにはまっています。

気になるレシピブックは…

- ・「上田まり子のMKホームベーカリーレシピ」上田まり子/著 パルコ ¥1,575
- ・「ホームベーカリーで作るふとらないパン」茨木くみ子/著 文化学園文化出版局 ¥1,575
- ・「真夜中こっそりパンを焼く」こばきょうこ/著 小学館スクウェア ¥1,260
- ・「あな吉さんのゆるベジ発酵いらず!即席パン」浅倉ユキ/著 河出書房新社 ¥1,575

何事も初めは色々な本を見比べてみたい。

$¥1,575 \times 3冊 + ¥1,260 = ¥5,985$

読みたい気持ちは抑えられません (-^_^)

以上、合計¥23,940+ ¥5,985= ¥29,925



節約その3 (お財布も場所?!も)

図書館で借りた本や雑誌は、返せばOK。借りてみて気に入った本だけを厳選してmy BOOKに。これで、スペースも空いて有効利用出来るし、本棚代もかかりません。

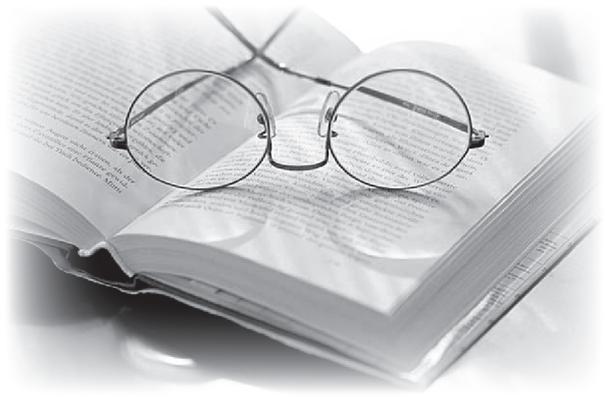
買おうかどうか迷ってやめた本棚 ¥11,800

毎日の生活のなかでの疑問や、調査・研究のための調べ物のお手伝いをします

レファレンス事例集

🔍 伊勢神宮の神御衣祭やそれに関する祭典について知りたい

『伊勢二千年ものがたり』（伊勢志摩編集室 1996 M174）に神御衣祭とは（五月十四日・十月十四日）内宮正宮と別宮の荒祭宮に、古式のままだに織られた和妙（絹）と荒妙（麻）をお供えする天照大神の衣替えの祭りです。五月には夏の御料、十月には冬の御料が、それぞれ反物のまま縫糸や縫針とともに供えられます、と記載がある。『神宮祭祀の研究』（国書刊行会 2007 M174）には詳細な神御衣祭の記載あり。『神宮』（神宮司庁2006 M174）等



🔍 下田歌子という作家について知りたい

しもだうたこ（1854～1936）美濃生まれ。

『日本女性肖像大事典』（日本図書センター 1995 R281）によると、明治・大正の教育者、歌人。宮中に仕え、昭憲皇太后に歌才を認められ歌子の名を賜る。桃天女塾を開き、華族女学校創設にも参画。帝国婦人協会を結成、実践女学校、女子工芸学校を創設。愛国婦人会長もつとめる、とあり肖像も記載されている。

ほかに『日本近代文学大事典 第2巻』（講談社 1977 R910.2）『図説明治人物事典 文化人・学者・実業家』（日外アソシエーツ 2000 R281）『日本近現代人名辞典』（吉川弘文館 2001 R281）等を紹介

🔍 「鉄刀木」の読みとどんなものか知りたい

『日本国語大辞典 9巻』（小学館 2001 R813）で調べると、てっとうぼく [名詞] 植物「たがやさん（鉄刀木）」の漢名。タガヤサン（鉄刀木）マメ科の高木とある。タガヤサンで『万有百科大事典 19巻 植物』（小学館 1977 R031）をみると、インドから東南アジア一帯に分布し、幹の高さは10～15m、径は30～40cmくらいになる。日本では古くから銘木として、シタン（紫檀）コクタン（黒檀）タガヤサンと3種が並び称されている。1708年（宝永5）に出版された『大和本草』には、タガヤサンについて「異国より来る諸木の内最良材なり」「鉄刀木といふ」などと記述されている。

🔍 「甘粕事件」または「大杉事件」についての新聞記事がみたい

『岩波日本史辞典』（岩波書店 1999 R210.0）で調べると「甘粕事件」とは1923年の関東大震災直後の混乱のさなか、アナーキスト大杉栄・伊藤野枝夫妻と大杉の甥橘宗一が、甘粕正彦（1891-1945）大尉率いる東京憲兵隊麹町分隊に殺害された事件とある。新聞記事としては当館所蔵の伊勢新聞（マイクロ）で記事を確認。また、『大正ニュース事典Ⅳ』（毎日コミュニケーションズ 1987 R210.6）の関東大震災の項に「甘粕事件」について報道した新聞記事の抜粋あり。

🔍 中水道について知りたい

『リサイクルの百科事典』（丸善 2002 R518）には、家庭用水におけるリサイクルの一つの形態として考えられているのが雑用水利用で、この雑用水を供給するシステムを雑用水道、あるいは中水道とよばれており、上水道、下水道と区別するために“中水道”が用いられている。とある。雑用水の利用用途としては、人間が直接触れることがない水洗便所用水が一般的であるが、散水用水、空調用冷却水など人間が触れる可能性が少ない用途に用いられている、等詳しく書かれている。図解入りのわかりやすい参考資料として『史上最強カラー図解水循環システムのしくみ』（ナツメ社 2010 518）がある。

知ろう私たちの郷土

津市八町稲垣家の寄贈資料 中川 豊



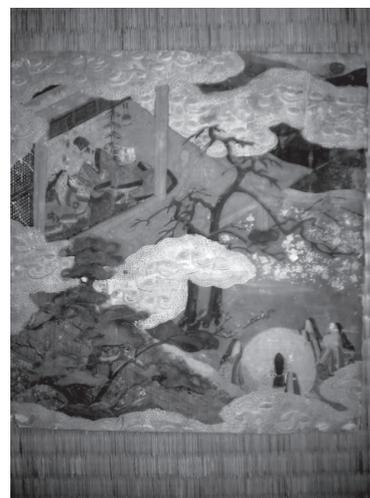
稲垣家の暖簾（なふそや）

伊勢国八町（現三重県津市八町）の稲垣家は、屋号を納所^{のうそ}屋^やといい、初祖^{しじゆう}浄^{じやう}運^{うん}（1640-1732）以来およそ三百四十年間続いている旧家である。二代信峯（1682-1755）は、江戸牛込および当地において両替、呉服商を営む商業活動を展開し、繁栄は近代の肥料業に及んだ。この間に蓄積された古文書・古典籍・測量器具など約一千八百点が津市津図書館に寄贈されたのは平成八年九月で『稲垣文庫仮目録』（平成十三年三月、津市津図書館）が刊行された。平成十六年七月には二回目の寄贈が行われ、額・測量器具・屏風・レコード・書籍・文書など約一千点の資料が追加された。そして今年四月に三度目の寄贈が行われた。その量は寄贈前に粗粗拝見させて頂いただけなので詳細は不明だが、大きめの段ボール八つに木箱・衣装ケースが四つほどである。これらは二回目の寄贈分と合わせて津市により目録の続編が作成されることを望みたい。

今回の寄贈資料の多くは稲垣家の商業資料であるが、五代定穀^{さだみ}（1764-1835）の天文地理に関するものも含まれている。定穀は津藩在野の天文地理学者で『国書人名辞典』（岩波書店）にも立項されているものの、その名前を知る人は津市内でも極めて少ない。江戸時代中期から後期にかけて八町の地には、学問、文藝の伝統があった。谷川清逸（士清曾孫）、誹諧^{らどう}の羅道、将棋の井村兵春などがこの地において

活躍し、定穀もこれと関わった。定穀は、凸頭、從雉堂、隨雉樓、止々軒などの雅号を持ち、天体観測や山川跋涉により地図を描き、編著刊行にも及んでいる。その関心の範囲は、アイヌ文化・洋学・絵画・有職故実^{ゆうそくこじつ}・考古・民俗・文学など多岐に及ぶ。中でも伊勢国の地図である『八国接讓図^{はっこくせつじやうず}』や四十八巻（稲垣家蔵『見山翁墓誌銘^{けんざんおうぼしめい}』では百巻あったと伝える）に至る隨筆『凸頭遺稿^{とつとういこう}』は、綿密な考証と幅広い学識を伝える彼の代表的著作物である。だが、私にとって最も興味深いのは、彼自身による夥しい転写（書物地図などを写し取ること）による自身の蔵書の充実にある。彼は自らの足でもって各地の知友や寺社を訪れては転写をしている。ときには自身の息子を派遣させて書写をさせて蔵書の充実を図っている。幸い彼は転写した場合、いつ写したかといひゆる書写奥書を記していることが多いので、これを手掛かりに書写年表が作成できそうだ。

稲垣家の多彩な資料は、空襲による戦火を免れほぼタイムカプセルのようにまとまって伝存している。これを守ってきた稲垣家歴代当主の努力も並大抵のものではなからう。市の財産になればというお気持ちで寄贈された現御当主の稲垣^{みのる}年氏には頭が下がる思いがする。津市民が、藤堂高虎と谷川士清といった郷土の偉人とともに、地域の文化に光をあてる具体的な郷土資料を得たことを喜びたい。



源氏物語（奈良絵）

休館日・開館時間などのご案内

※下記の休館日のほかに特別整理期間（年1回、14日以内）や、臨時に休館することがあります。詳しくは、各館の図書館カレンダーや図書館たいむず、津市図書館ホームページなどをご覧ください。

津市図書館HP (<http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp>)

携帯版HP (http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp/cgi-bin/Sopcstop.sh?p_mode=3)



携帯電話QRコード

館名	開館時間	休館日
津図書館 西丸之内23-1 津リージョンプラザ内 ☎ 229-3321	平日 9:00～19:00 土・日曜日、祝・休日 9:00～17:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
久居ふるさと文学館 久居東鷹跡町2-3 ☎ 254-0011	平日 9:00～18:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日 祝・休日（土・日曜日にあたる場合は開館） 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
ポルタひさいふれあい図書室 久居新町3006 ポルタひさいふれあいセンター内 ☎ 254-0464	平日 10:00～21:00 土・日曜日、祝・休日 10:00～18:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
河芸図書館 河芸町浜田782 ☎ 245-5300	10:00～18:00	火曜日 祝・休日（土・日曜日にあたる場合は開館） 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
芸濃図書館 芸濃町椋本6824 芸濃総合文化センター内 ☎ 265-6004	9:00～17:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
美里図書館 美里町三郷51-3 美里文化センター内 ☎ 279-8122	9:00～17:00	火曜日 祝・休日（土・日曜日にあたる場合は開館） 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
安濃図書館 安濃町東観音寺418 サンヒルズ安濃内 ☎ 268-5822	10:00～18:00	火曜日 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
きらめき図書館 香良洲町2167 サンデルタ香良洲内 ☎ 292-4191	9:00～17:00 （7・8月の平日は18:00まで）	火曜日 祝・休日（土・日曜日にあたる場合は開館） 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
一志図書館 一志町井関1792 とことめの里一志内 ☎ 295-0116	10:00～18:00 （7・8月の平日は19:00まで）	火曜日 祝・休日（土・日曜日にあたる場合は開館） 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
うぐいす図書館 白山町二本木1139-2 白山総合文化センター内 ☎ 262-5000	平日 10:00～19:00 土・日曜日 9:00～17:00	火曜日 祝・休日（土・日曜日にあたる場合は開館） 毎月最終木曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
美杉図書室 美杉町八知5828-1 美杉総合開発センター内 ☎ 272-8092	9:00～16:30	土・日曜日 祝・休日 年末年始（12月28日～1月4日）

※上の表中「祝・休日」とは、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいいます。

本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 第11号

発行日/平成23年11月1日 編集及び発行/津市教育委員会 津市津図書館
 三重県津市西丸之内23番1号津リージョンプラザ内 ☎(059)229-3321